

若者は欲張れ

Girls, Be Ambitious!

笠松春美 Harumi KASAMATSU

共同研究をしている北大の人獣共通感染症リサーチセンターの澤洋文教授と直接に意見を交わすため、先日、札幌まで出張した。グループ・セミナー形式で、実験上の論議に話が弾んだ。発表者の中に2人の女性研究者がいた。ウイルス因子と宿主因子の相互関係の話をした方はこの大学の研究員だ。もう1人は、標的付きウイルスの細胞内での振舞いを調べ、自分たちの仕事で新たに「何がわかったか」を詳しく話していた。自前のデータを分野全体がめざす方向に重ね合わせてとらえる姿が、私にはとてもうれしかった。こういう若い研究者が独立すれば、きっと次の世代を育てるのに役立つのだ、と思った。本人は大学内には空席がないので、企業就職が決まっているとか。

科学研究は事実の積重ねに支えられ、その方法論は保守的でもある。したがって当然のように、しばしば一つの分野は行き詰まる。だからこそ、時に応じて模範・発想の転換が求められ、また生まれる。若者に特有の素人の恐ろしさ (Beginner's luck) が顔を出すのもそんな瞬間だ。仮説にそって仕事を進めるときに、当て外れの実験結果に出くわすことがある。解釈のできない結果を何かの間違ひとして捨てるか、それとも、新しい発想の下に次の実験を組み立てるかは、選ぶべき分かれ道だ。私が先達から頂いた助言は二つ、「研究者として独り立ちする気なら、何を学べばよいかを常に考え、物事に優先順位をつける」と「異分野で進展する方法論や知識が研究方針の大筋を決める」である。

さて、次世代の研究者はどうすれば育つのか？ まず、研究に必要な基礎はできているのか。その上で、きっかけがあれば大学院生・研究生となって研究生活が始まる。個人的きっかけの中身は多様だ。たとえば、好奇心を満たしたいというように、かなり濃い個人的な色合いが必要だ。本人がおもしろがる、あるいは、楽しまなくては何かとも始まらない。私の場合、学生時代に接した広田幸敬先生の授業である。ルイ・パスツールとロベルト・コッホが19世紀後半に展開した研究に関する「病気と病原体」と題する講義が面白かった。『Microbe Hunters (Paul de Kruif)』と

『Arrowsmith (Sinclair Lewis)』を読み、微生物のことをもっと知りたいと思った。

急激な少子化・人口減少・高齢化を抱える日本は、移民達の支える米国とはちがって、外国人のもつ活力をあてにするには、国内体制が不揃いだ。女性は人口の半分を占める身近な人材源。焦眉の急はそれを育てることではなかろうか。女性研究者の育成には、結婚と子育てという特別な要因がある。ジョンソン大統領のときに成立した「1964年公民権法」の第7項は、職場での平等参画を目指して、人種・皮膚の色・宗教・性別・旧国籍に基づく差別を禁じている。私がUCLAに赴任した当時、生物学部で女性教授の数は1割にも満たなかった。35年後の今は34%。数学・物理学・化学・生化学を含めた理学系は12%と低い。UCLA全87学部の平均は27%だ。在籍学生総数4万人の内、女性は大学生で56%、大学院生で49%であるから、上記の女性教授27%はいかにも低い。連邦政府の男女平等化政策は徹底している。たとえば、大型臨床研究でアメリカ国立衛生研究所 (NIH) に研究費申請をする際、被検者群には男女両性および人種別集団や、必要なら子供も含めねばならない。UCLAでは教授育成課を設けて、教授職の男女比や人種別の配分が国・州全体の人口分布に近づくように努めている。たとえば、研究者夫婦のいずれかに教授職招聘の白羽の矢が立つとする。機会雇用 (Opportunity Hiring) という枠外予算を使って、関連学部共同で二つ目の職を探す。その夫婦に幼児がいれば、大学付属保育園の便宜を図る。最近、教授が assistant professor 一人一人の助言者となって、准教授 (associate professor) 昇進を助ける仕組みができた。知り合いの女性准教授は、目下、教授昇進のための資格審査中である。「この年になって、どうしても子供が欲しい……」と思った彼女は養子縁組に踏み切った。彼女のために、同僚はもとより、大学内サポートの仕組みが動く。本人は母親になった喜びとともに仕事を続けている。うれしい話だ。「少女たちよ、欲張って！」



笠松春美 Harumi KASAMATSU

Molecular, Cell and Developmental Biology and
Molecular Biology Institute, UCLA
Professor
理学博士
専門は分子生物学

E-mail: harumi_K@mbi.ucla.edu